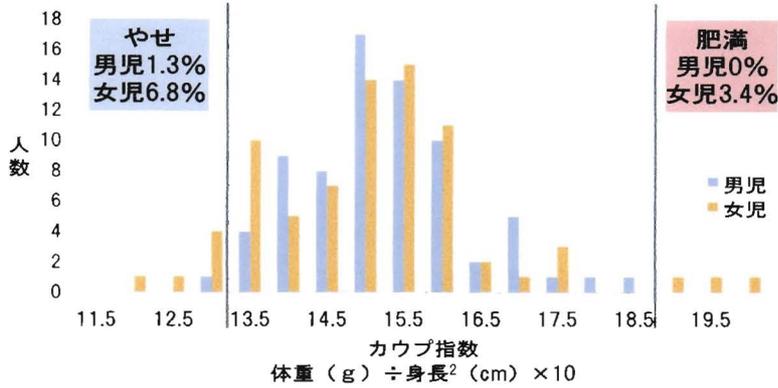


平成 22 年度 京都市立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A18 22	取組 名称	地域における食育の推進による健康づくりに関する研究
研究代表者：		生命環境科学研究科	教授：東 あかね
研究担当者： 京都市立大学（和田小依里、青井渉） 外部分担者・協力者（楠 隆・萩原暢子、北川郁美、市川寛、横田昇平、他 10 名）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都市丹後保健所、南丹保健所、南丹市保健課、京都府乙訓保健所、長岡京市健康推進課、精華町衛生課、京都市立大宅小学校、近江八幡市教育委員会など			
【研究活動の要約】			
要旨：本研究は、生活習慣病（成人病）の予防を効果的に実施するために、地域における食育の推進によって胎児期、乳幼児期から生涯にわたる健康づくりを推進することを目的とした。			
① <u>妊婦・出生児リンク調査</u> ：平成21年度のACTRにより実施した南丹市、長岡京市、精華町の妊婦約200名を追跡し、妊婦の体格、食生活と出生時体重との関連を検討した。			
② <u>5歳児調査</u> ：平成21年度の福知山市に続き、京丹後市、宮津市、与謝野町、伊根町、長岡京市において保育所（園）に通所する5歳児の母親を対象に子どもの食生活・生活習慣調査を実施した。長岡京市においては食育推進計画のベースライン調査とした。			
③ <u>学童調査</u> ：京都市内の一小学校において栄養教諭と連携して楽しい給食をめざした食育を実践し、評価した。研究分担者の楠は長浜市立小学校において、アレルギーと生活習慣に関する調査を実施した。			
④ <u>成人調査</u> ：京都市内の一病院における人間ドック受診者に、出生時の妊娠週数と出生体重を調査し、出生体重と成人後の腹囲、血圧、糖代謝、内臓脂肪症候群との関連を検討した。			
【研究活動の成果】			
① <u>妊婦・出生児リンク調査</u> ：妊婦の体格と出生児の体格との関連を検討したところ、妊婦のやせと低出生体重との関連はみられなかった。			
② <u>5歳児調査</u> ：長岡京市保育所における幼児の食生活調査結果は保育所を通して保護者にリーフレットとして配布し、平成23年3月策定の長岡京市食育推進計画のベースライン調査として活用された。6月18日開催予定の食育フォーラムにおいて結果をポスター展示し、市民に広報する予定である。			
③ <u>学童調査</u> ：小学生を対象とした栄養教諭による食に関する指導の効果を明らかにすることができた。 本研究で得られた成果は、京都府ならびに市町村の健康増進計画や食育推進計画の科学的根拠となり、地域保健、学校保健において胎児期から生涯にわたる府民の健康増進に寄与できると考える。			
【研究成果の還元】			
H22/12/8 三大学連携フォーラム 約60名（発表：猿渡綾子、田中優里佳、金森郁美）			
H22/12/12 栄養改善学会近畿支部 （発表：猿渡綾子）			
H23/3/9 乙訓保健所食育従事者研修会 約50名（講演：東あかね）			
報告書：1. 京丹後市保育所5歳児の食生活調査結果（府大図書館で閲覧可） 2. 京都市立大学食保健学科健康科学研究室卒論・修士論文要旨集（府大図書館で閲覧可）			
京都市保健所7か所、関係市町4か所、管理栄養士養成校4校、京都市保健衛生局に配布			
【お問い合わせ先】		生命環境科学研究科 健康科学研究室	教授：東あかね
Tel: 075-703-5416		E-mail: higashi@kpu.ac.jp	

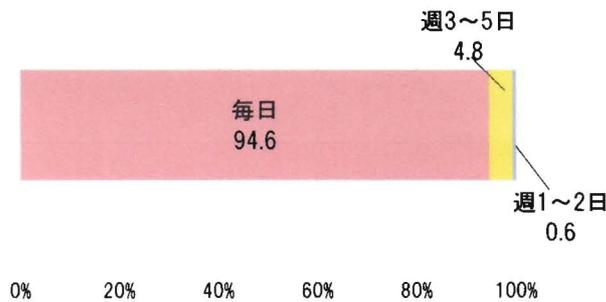
長岡京市 5 歳児食生活調査結果

子どもの体格



女児では肥満とやせが多い

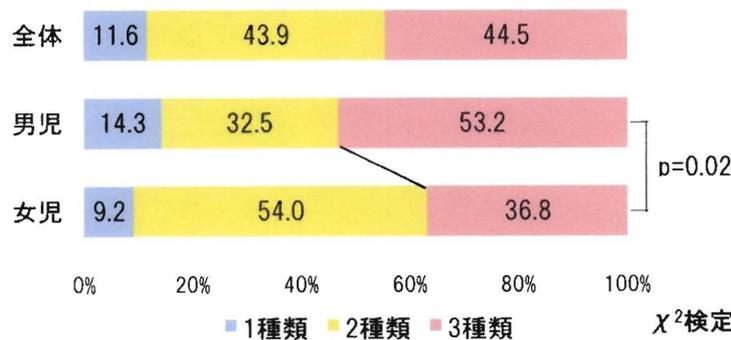
朝食摂取頻度



朝食摂取は 95%と高い

朝食組み合わせ

- ・ 主食： ご飯、パン、麺類
- ・ 主菜： 肉・魚・卵・大豆のおかず、牛乳、乳製品
- ・ 副菜： 野菜のおかず、汁物、ジュース、果物



バランスの良い朝食は 45%